

令和4年度小松市立犬丸小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	人間関係づくり（自己有用感の向上・不登校の未然防止）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な活動を支えることにより児童に達成感や自己有用感をもたせる。 ①学級力アンケートを活かし、学級づくりのために児童が話し合う場を定期的にもつ。 ②たてわり活動による異学年交流を深め、よりよい人間関係の構築を図る。 ③あたたかい人間関係を築けるように、毎月1回、スキルタイムに、構成的Gエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングに取り組む。 ・子どもの不安や辛さを相談していけるように、スクールカウンセラー 心の相談員と連携していく。 【児童アンケート：ふわふわ言葉ふわふわ行動ができている 90%以上A 80%以上B】		
生徒指導	アウトメディア		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動の中で、メディア機器とのかかわり方を考えた提案をし、全校にアンケートをとる。 ・「家庭でのメディア機器使用の約束」について、児童が主体となって考え、発信していけるよう、取り組みを進める。 ・学期に1回ネットモラル通信を発行し、保護者への啓発活動に努める。 【児童アンケート：9時以降はSNSやゲームをやめる 80%以上A 70%以上B】		
特別支援教育	個に応じた教育と支援体制の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や人間関係において困っている児童の見取りを丁寧に行うため、教職員で情報を共有し適切な支援を行う。 ・組織的な支援体制を構築し、学期に一度、または必要に応じて校内支援会議を行い、個別の支援に努める。 ・児童の実態や教師の悩みを受け、効果的な支援方法について、巡回指導の要請をかけ、校内研修を実施する。 【行動指標：学期に1回以上支援会議を行う A】		
読書指導	計画的な読書活動及び学校・家庭での読書習慣の定着		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族読書傾向表のふり返りにより、児童に次の目標をもたせ、読書意欲を高める。 ・図書委員会の企画や図書ボランティアの活動を通して、本を手にする機会を増やす。 ・「なかよし読書」を毎月行い、保護者に子どもの読書状況を把握してもらうとともに、家庭での読書習慣定着の啓発を行う。 【行動指標：年間100冊（低）60冊（高）本を読むことができたA】		
道徳教育	「特別の教科 道徳」の時間を中心とした道徳実践力の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校重点項目、学年重点項目を絞り込み、カリキュラムマップを活用し、他教科などとの関連を図る。 ・授業のふり返りを項目ごとに道徳ファイルに綴らせ、児童の姿容を見取り、評価の参考とする。 【児童アンケート：道徳の時間に自分の考えを深めたり広げたりすることができた 90%以上A 80%以上B】		
健康教育	規則正しい生活習慣の確立		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に一回「すこやかカードの取組」を実施し、家族と一緒に規則正しい生活を送る機会とする。 ・ほけんだよりや掲示、保健指導を通じて、よりよい生活習慣について啓発する。 【児童アンケート：9時まで（低）9時半まで（中）10時まで（高）に寝る 80%以上A 70%以上B】		
体力向上	休み時間や体育の導入を活用した運動能力向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムレースやなわとび集会に向けて、事前に強化週間を設定し、マラソンカード・なわとびカードを活用することで、児童の意欲的な取り組みを促し、体力向上に努める。 ・令和3年度の体力テストの結果から本校の課題を把握し、一校一プランを作成し、運動能力向上に向け全校で取り組む。 【ロードレース大会：各学年の設定目標に達成した児童が 80%以上A 70%以上B】		
情報教育	ICT機器の技能習得		
	<ul style="list-style-type: none"> ・研究全体会の中にICT機器を使った研修を位置づけ、効果的な活用方法を交流する。 ・GIGA推進リーダーが指導者役として研修を行い、すぐに授業に使えるようなスキルや機能を紹介していく。 ・週1回、ICTタイムで全児童が学年に応じた使い方ができるようになる。 【教師アンケート：週に2回以上児童がタブレットを活用した授業を行う 100%以上A 90%以上B】		
家庭・地域との連携	開かれた学校づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動への関心が高まるよう、各種通信、ホームページ等で情報発信をする。 ・地域人材を活用して、学習活動の充実を図る。（SDGsの取組も考慮して） 【教師アンケート：計画的に地域の人材や資源を活用した授業を行うことができた。90%以上A 80%以上B】		
学校関係者評価			

